

留学に関する Q&A 金本直也

Q1 自己紹介、留学時期、留学先、勉強内容

自己紹介:金本直也 福井県出身 経済学部経済学科 3 年 (研修参加時)

留学時期:2021 年 9 月

留学先:QUT オンライン (クイーンズランド工科大学)

勉強内容:オンラインで、1 人の講師対 10 人ぐらいのグループで学ぶ。午前中は少人数での会話の練習。これは参加者が少ないので、より長時間現地の講師と英語の勉強ができる。

午後からは授業で、毎回主となる文法を中心に学び、それに関連した問題や作文、ブレイクアウトルームでの学生同士の会話などを通じて、語学力の向上を図る。

文法は時制や不定詞、動名詞、過去時制など、中高レベルのもので、日本人にとっては簡単と感じるものが多い。

QUT のサイトを用いた課題があり、その日の文法に関連する問題を解いたり、リスニング・ライティングをしたりすることが課される。ライティングに関しては、そのフィードバックや修正点などが講師から送られてきたので、誤って理解している部分を知ることができる。

Q2 履修科目、科目数

午前中に会話のレッスンがあるが、参加自由。

毎日午後からレッスンが始まり、週に 2 回ほど選択科目がある。

選択科目は、英語の文学作品を読んで、英語を学ぶというもの。

Q3 留学の志望動機

TOEIC や英検の勉強を通して、英語力の向上を図っていたが、ネイティブスピーカーや他の国の英語を学ぶ人との会話の機会を増やしたいという理由から。

Q4 留学を準備し始めた時期

英語特論の履修が必要だったので、申し込みと合わせて 2021 年の 4 月ぐらいから。

Q5 留学準備で大切なこと/県大内で準備すべきこと

研修前の外国人との会話やコミュニケーションの練習。

ワールドカフェに通って、インストラクターと英語で会話の練習を行うこと。

Q6 留学費用はいくらかかったか。

研修費は約 104000 円。

福井県立大学からの 50000 円の補助により、自己負担額は約 54000 円。

Q7 準備する上で障害だったこと、どうやって乗り越えたか

補助金申請のために、領収書などを保持しておくこと。

クレジットカードなどでの参加費用支払いの際に、VISA か Mastercard でしか支払えないこと。(JCB や American Express では払えない)

Q8 留学が始まってから大変だったこと

オンラインなので現地と時差があり、午前中の授業の開始時間が朝早いこと。

積極的に発言しないと会話する機会が無いこと。

共に学ぶ学生は、ネイティブではないので、彼らの母国語訛りの英語が聞き取りづらい。

オンラインでは、友人を作ることは難しいと感じる。

Q9 日本の大学との違い、どんな刺激を受けたか

日本人が学生は控えめだが、他国出身の学生は積極的に質問や発言をしている。

彼らは、英語の文法の基礎には弱いですが、会話は日本人よりも上手い。

Q10 交友関係はどうだったか

休み時間などは、オンラインのためカメラ・マイクをミュートにしてしまい、友達を作ることとは難しい。

Q11 もう一度留学をやり直せるならどのようにしたいか

日本語訛りの英語では、ネイティブでない人に伝わりづらいことを感じた。研修前に、外国人インストラクターと、発音の矯正をして、外国人学生とのコミュニケーションをより快適にしておくべきだった。

Q12 就職活動で留学経験をどう活かしたいか

何か一つのスキルを勉強し続けたというのは、仕事が始まってスキルを身に着ける際に、粘り強さや勉強の習慣づけができている分、役に立つと考える。

また、少しでも英語が将来的に役に立つ仕事から、就職先を絞るということもできる。

Q13 留学したい学生にメッセージ

机上の勉強だけでは、得られないモノはあると思います。そういったものを得るために、留学は役に立つと思うし、様々な国籍の人と触れ合うことで価値観が広がり、人間としても成長できます。